

# 平成30年度 第3回東区多職種連携研修会 アンケート結果

日時 平成31年2月5日(水) 19時00分～20時45分

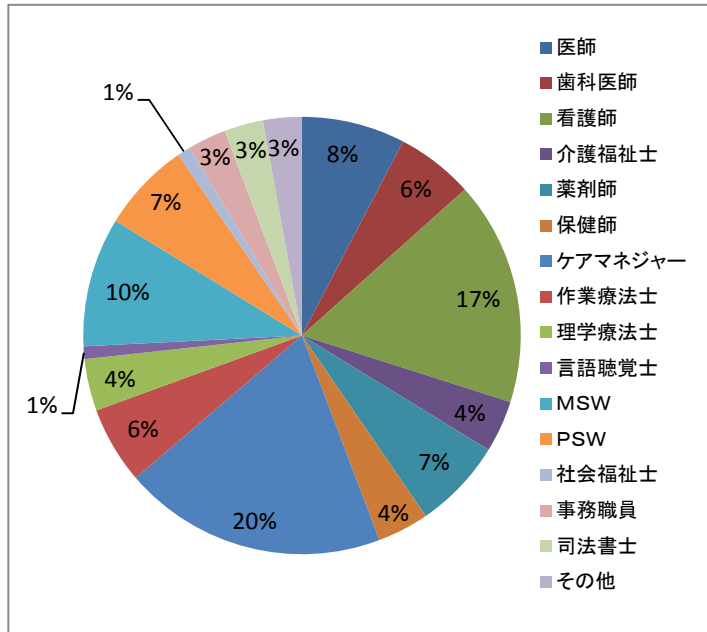
場所 なみきスクエア なみきホール

出席者 121名

アンケート回答者 102名(回答率 84.3%)

## 1. 職種について

医師	8	8%
歯科医師	6	6%
看護師	16	17%
介護福祉士	4	4%
薬剤師	7	7%
保健師	4	4%
ケアマネジャー	19	20%
作業療法士	6	6%
理学療法士	4	4%
言語聴覚士	1	1%
MSW	10	10%
PSW	7	7%
社会福祉士	1	1%
事務職員	3	3%
司法書士	3	3%
その他	3	3%

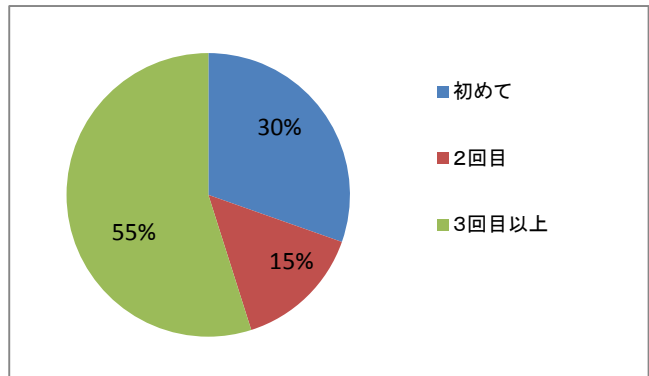


※その他回答(3名)内訳

初任者研修師(1名)・調剤薬局地域連携担当(1名)・包括職員(1名)

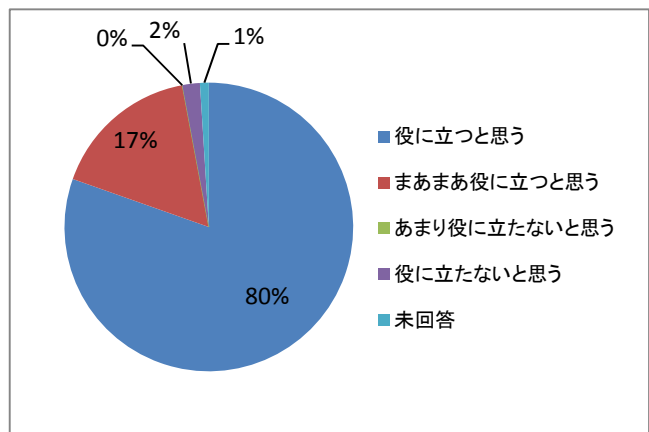
## 2. 参加回数について

初めて	31	30%
2回目	15	15%
3回目以上	56	55%



## 3. 研修会について

役に立つと思う	82	80%
まあまあ役に立つと思う	17	17%
あまり役に立たないと思う	0	0%
役に立たないと思う	2	2%
未回答	1	1%



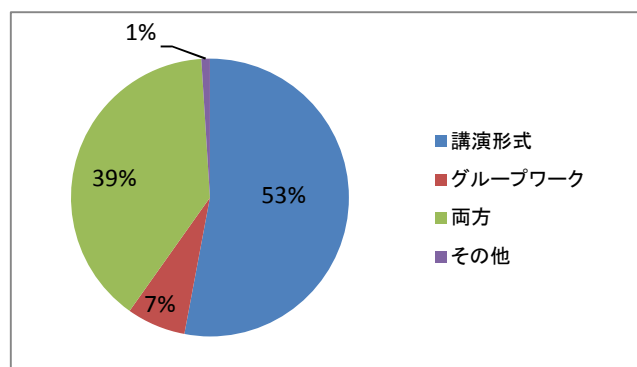
※「役に立つと思う」・「まあまあ役に立つと思う」と回答した人のコメント

1	日常診療で認知面の低下が見られる方々があり、生活状況をうかがいながら対応の幅を広げていくためには、地域の中での協力関係や情報の共有が必要と考える。(医師)
2	松井先生の話に感動した。(医師)
3	松井先生の話聞いて「認知症」に対する見方が変わった。(医師)
4	認知症の患者さん、家族との接し方について勉強になった。(歯科医師)
5	「思いやり社会の構築に」との提言に心をうたれた。(歯科医師)
6	認知症への認識が深まった。(歯科医師)
7	認知症を早期発見するためには、自分の職種でも何か新しくできることがあるのではと感じた。(看護師)
8	東区認知症初期集中支援チームの取り組みについて理解できた。(看護師)
9	医師と多職種が同じ思いになれる良い機会だったと思う。(看護師)
10	正常加齢とアルツハイマーの区別は難しいという解釈を知ることができた。(介護福祉士)
11	松井医師の事例や質疑応答の答えはとても考えさせられるものだった。励みにもなった。(介護福祉士)
12	松井先生の話、どう認知症と診断された方に寄り添っていくかが伝わってきた。(保健師)
13	介入していくうえでの心構え、関わりをつくるきっかけについて勉強になった。(薬剤師)
14	入江係長の資料は知識として役に立った。(ケアマネジャー)
15	認知症の考え方と捉え方が時代とともに変わっていくので、タイムリーに病気のことを学ぶことができる。早期発見の大切さを理解した。(ケアマネジャー)
16	現在、初期集中支援チームが関わっている利用者と家族を紹介され、今後サービス導入の検討をしているため参考にしたい。(ケアマネジャー)
17	担当している方のご家族に認知症の疑いがあるが、必要な支援に結びついていないので相談したいと思う。(ケアマネジャー)
18	改めて認知症について考えさせられた。専門的な方々が連携し、理解を深めていくことの大切さを感じた。(ケアマネジャー)
19	非常に分かりやすかった。初期集中支援チームと関わるのが少ないため。(作業療法士)
20	初期集中支援チームの事を知らなかった。(理学療法士)
21	初期の意味について学習できた。(理学療法士)
22	考え方をシフトする。あらためて痛感した。認知症だからさせないではなく認知症だけでも工夫してできるように。(MSW)
23	東区の取り組みをわかりやすく説明して頂いたので、今東区でどのようなことが行われているのか理解できた。(MSW)
24	これから認知症は益々増加すると思うので、専門職としてどのように対応していくべきか知っておく必要があると感じた。(MSW)
25	初期の認知症を知れて、今後の認知症の方の対応に役立つと思った。(MSW)
26	今後の役に立つと思って今回参加した。(PSW)
27	在宅患者様に認知症の方がいるので役に立つと思った。(事務職員)
28	業界の動向、認知症の捉え方などが理解できた。(司法書士)

4. 研修会の希望する形態について

講演形式	54	53%
グループワーク	7	7%
両方	40	39%
その他	1	1%

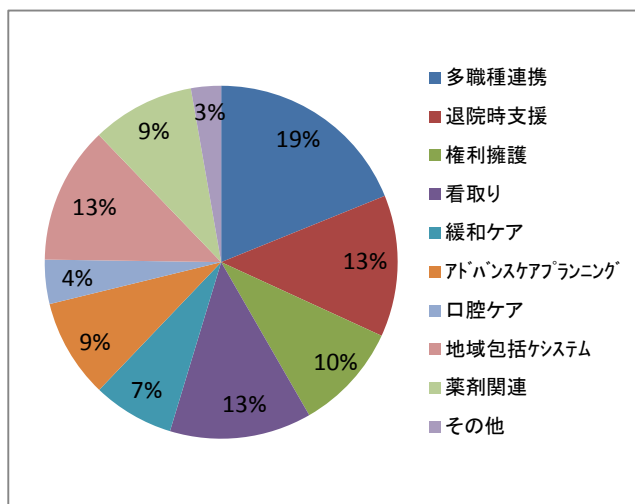
※その他回答(1名)内訳  
ケーススタディ(1名)



## 5. 取り上げて欲しいテーマについて(複数選択可)

多職種連携	48	19%
退院時支援	33	13%
権利擁護	25	10%
看取り	33	13%
緩和ケア	19	7%
アドバンスケアプランニング	23	9%
口腔ケア	12	4%
地域包括システム	32	13%
薬剤関連	24	9%
その他	7	3%

※回答数256件



### ※その他回答(7名)内訳

心不全(1名)・地域作り(1名)・在宅ケア・就労支援(1名)・虐待(1名)・生活困窮者支援(1名)・引き続き認知症(1名)・依存症[ギャンブル・買い物・アルコール等](1名)

## 6. ご意見・感想等

1	認知症をまとめて、お話し頂いて分かりやすかった。また、行政の取り組みも知る事ができて良かった。(医師)
2	松井先生のお話は、とても分かりやすかった。(医師)
3	事例で初期集中の特徴的な面がこれまでの支援とどこが違うのかよく分からなかった。松井先生のお話はとても共感できるものだった。(医師)
4	大変勉強になった。(歯科医師)
5	松井先生の講演で、以前の考え方を見直して、現在は本人の意向を尊重する対応に変わってきていると言われて、ほっとしました。(看護師)
6	民生委員や公民館サークルの方も交えた意見交換をしたい。(介護福祉士)
7	地域との繋がり、その方の今までの人生をどう続けていくかが大切という松井先生のコメントが心に残った。(保健師)
8	認知症、MCIも様々で、本人や家族との関わりの難しさ、心の柔軟さが必要であると感じた。(薬剤師)
9	看取りについて、僕は亡くなられた方の家族へどんな言葉をかけたらいいのか、死亡退院後の家族フォローについて悩んでいる。(ケアマネジャー)
10	もう少し早い時間での開催でも良いのでは。交流会(名刺交換)として顔の見える研修の機会があっても良いと思う。助けあえる仲間づくりに繋がると思うので。次年度は開催回数が増えても良いのではとも思った。(ケアマネジャー)
11	松井先生のお話が、ためになった。初期集中支援チームが益々実効性があるものになることを期待している。介護認定の認知症自立度判定基準を主治医がチェックすること、どの科の医師でもチェックできることは問題であると考えている。(ケアマネジャー)
12	当事者の思いを理解していき、誰もが認知症になっても暮らせる街づくりに貢献していきたいと思った。(ケアマネジャー)
13	今日の内容を日々の業務に役立てられたらと思う。(理学療法士)
14	初期集中支援チームとして独居や介入拒否の方へも支援を粘り強く継続してほしい。(MSW)
15	専門医の話が聞けてとても良かった。認知症集中支援チームの取り組みも知れてよかった。連携して行きたいと強く感じた。(MSW)
16	三善病院の松井先生の話はとても分かりやすく感銘を受けた。グランドゴルフの方の妻の事例は、地域が「認知症」のその人を受け入れる。認知症を理解する。そういった世の中が益々進んでいくような仕事をしていけたらと思った。(MSW)
17	事例を交えた説明ですごく分かりやすかった。(MSW)
18	とても勉強になった。(MSW)
19	空調を調整していただいたかった。(MSW)
20	今後もこうした研修を継続して頂きたいと思う。(PSW)
21	勉強になった。(事務職員)